

平成26年3月26日

総務省九州管区行政評価局

(局長：杉山 茂)

国立公園における九州自然歩道の管理等に関する 行政評価・監視 〈調査結果に基づく所見表示〉(熊本版)

総務省九州管区行政評価局(局長：杉山 茂)は、九州に所在する国の行政機関等を対象に独自にテーマを設定して、現地的に改善の必要がある行政上の課題について、調査(行政評価・監視)を行い、改善を図っています(地域計画調査)。

この地域計画調査として、九州管区行政評価局及び佐賀・大分行政評価事務所は、平成25年12月から26年3月にかけて、国立公園における九州自然歩道について、九州地方環境事務所等による維持管理等の状況を調査しました。

この調査結果に基づき、平成26年3月26日、国立公園内の九州自然歩道を所管する環境省九州地方環境事務所に対して必要な改善措置を講ずるよう所見表示を行いました。

[本件照会先]

総務省九州管区行政評価局

第一部第3評価監視官室

担 当：森永 一行

電話(代表)：092-431-7081

FAX：092-431-7085

Eメール：ksy13@soumu.go.jp

国立公園における九州自然歩道の管理等に関する行政評価・監視

調査の背景

- 九州自然歩道は、全国2番目に昭和50年度から整備が開始された長距離自然歩道。延長距離は2,932km。平成23年の利用者数は841万5千人
- 国立公園内の九州自然歩道の延長距離は478km（九州自然歩道延長距離の16%）
- 九州自然歩道については、整備開始から40年近く経過しており施設の老朽化が進行。また、近年の豪雨による歩道の崩落や倒木等のため歩行が困難となっているなどの状況あり

調査の概要

【目的】九州自然歩道利用者の安全確保、利便向上

【主な調査事項】

1. 九州自然歩道、標識等の維持管理
2. 利用者に対する情報提供の充実等
3. ビジターセンターの休憩・避難機能等の充実

【調査対象機関等】

環境省九州地方環境事務所

【関連調査等対象機関】

熊本県、大分県、鹿児島県

【調査対象九州自然歩道】

阿蘇くじゅう国立公園及び霧島錦江湾国立公園内の九州自然歩道

所見表示事項

1. 九州自然歩道、標識等の維持管理
 - 歩道、標識の計画的改善等
 - 巡視・点検の的確な実施
2. 利用者に対する情報提供の充実
 - 九州自然歩道ポータルサイト（ハイカーズマップ）及び地形図におけるルート of 正確な表示
 - ハイカーズマップにおけるルートの表示方法の統一など
 - 九州自然歩道ポータルサイトにおける「緊急情報」の提供充実
3. ビジターセンターにおける休憩・避難機能等の充実

平成26年3月26日

九州地方環境事務所に
改善措置を講ずるよう
通知

1 九州自然歩道、標識等の維持管理

調査結果

○阿蘇くじゅう、霧島錦江湾の2国立公園内の九州自然歩道304kmのうち、40kmを現地調査。この間の公共標識数は184本

○利用者の安全確保が不十分

- ⇒歩道が崩落しているもの（3事例）（熊本3事例）
- ⇒歩道が草等に覆われているもの等（12事例）（熊本3事例）
- ⇒歩道の分岐地点に案内標識が設置されていないもの等（25事例）（熊本10事例）
- ⇒柵（手すりなど）が破損しているもの等（熊本1事例）

計 45事例（熊本17事例）

○利用者の利便確保が不十分

- ⇒歩道に障害物（有刺鉄線、門扉等）が設置されており通行が阻害されているもの（6事例）（熊本4事例）
- ⇒案内標識が倒壊している、表示が風化・劣化しているもの等（34事例）（熊本12事例）
- ⇒ベンチが破損しているもの（1事例）（熊本該当事例なし）

計 41事例（熊本16事例）

○九州自然歩道の巡視・点検、把握箇所への対応が不十分

- ⇒少なくとも2年間、巡視を実施していないもの
- ⇒巡視・点検により把握した要補修箇所を補修していないもの

所見表示事項 (ポイント)

歩道、標識の計
画的な改善等

巡視・点検等の
的確な実施

2 利用者に対する情報提供の充実等

調査結果

九州地方環境事務所は、平成24年6月以降、「九州自然歩道ポータルサイト」をWEB上で公開し、九州自然歩道のルートを周知する「ハイカーズマップ」や入山規制等の注意喚起を行うための「緊急情報」を掲載し、情報を提供

○九州自然歩道のルートの表示位置が「ハイカーズマップ」と「国土地理院の地形図」で異なっており、ルート誤認のおそれがあるもの

⇒九州自然歩道全体で26か所、うち国立公園内4か所

○「ハイカーズマップ」におけるルートの表示方法（道の種類及びルートを示す色）が九州各県で区々となっており、利用者の利便性への配慮が不十分

○九州自然歩道ポータルサイトの「緊急情報」について、土砂災害や崩落等で通行できないなど利用者に必要な情報が未掲載、また、噴火のおそれがある新燃岳の登山規制等の情報が未更新（最新情報が未掲載）

所見表示事項 (ポイント)

九州自然歩道ポータルサイト（ハイカーズマップ）及び地形図におけるルートの正確な表示

ハイカーズマップにおけるルート表示方法の統一など

九州自然歩道ポータルサイトにおける「緊急情報」の充実、最新情報の提供

3 ビジターセンターの休憩・避難機能等の充実

調査結果

九州内に設置された、環境省が管理する7ビジターセンターのうち、雲仙お山の情報館、長者原ビジターセンター、えびのエコミュージアムセンターの3ビジターセンターを調査

所見表示事項 (ポイント)

○利用者の利便対策が不十分

<館内に休憩用スペース、スポット暖房なし>
⇒ えびのエコミュージアムセンター（標高1,200m）周辺の冬季の外気温は4.4度（平成26年1月平均）

○災害時における避難対策が不十分

<非常用電源保有せず>
⇒ 長者原ビジターセンター
えびのエコミュージアムセンター（山岳事故等の搜索拠点）
⇒ とともに登山者が避難可能な施設であるにもかかわらず、災害時に電気の供給が停止した場合、通信機器等が機能しないおそれ

ビジターセンターにおける休憩・避難機能等の充実